

水土里レポート 投稿様式

| | |
|-----------|-----------------|
| 投稿月日 | 平成28年12月20日 |
| タイトル | 地域の方へ思いを込めて感謝祭！ |
| 水土里レポーター名 | 水土里ネット福山 佐々田 愛 |

平成28年11月25日（金）福山市立金江小学校で、児童全員で行った農業体験で収穫した米などの食材を使って調理し、地域の方を招いて感謝祭をされましたので取材しました。

学校近くのほ場で栽培された米とサツマイモ、大根、ニンジン、白菜、ネギを使い、全児童が手分けしておむすびと豚汁を作りました。6年生は体育館で1～4年生と一緒におむすびを作るチームと5年生と一緒に豚汁を作るチームに分かれます。

体育館では、6年生がリーダーとなり運ばれてきたおひつ一杯の新米の炊きたてごはんをお椀にラップを敷いてごはんをつぎ、低学年の子どもから順におむすびを作ります。



最初は「熱い」と言って恐々おむすびを作っていましたが、段々上手になり「三角にしたよ」と見せてくれました。小さな手に入らないくらい大きなおむすびを作りました。高学年は、低学年の手伝いをしてあげ、みんなで一生懸命作って山盛りのおむすびができました。

5、6年生は、保護者の方や先生と一緒に豚汁を作りました。具材の多くは子ども達が作った野菜で模造紙に書いてあるレシピを見ながら調理しました。調理室は出汁のいい香りや新鮮な野菜の瑞々しい香りがしていました。自分たちが育てた大根やサツマイモなどの野菜を、児童は、誇らしい表情で皮を剥いたり包丁で切っていました。8班に分かれ、それぞれ40人前のおむすびを作りました。





準備が終わり、感謝祭が始まるまでの間は、6年生が紙芝居を読み聞かせしました。身乗り出して聞く子ども達の姿がかわいらしいですね。受付を担当した子どもは、元気いっぱいに挨拶して地域の方をお迎えしお土産のお米を手渡し席まで案内していました。

感謝祭では、まず、校長先生から地域の方にお礼が伝えられました。地域の皆さんを紹介されました。農業体験や学校での様々な活動、登下校の見守りなど大勢の地域の方々が金江小学校に携わっておられることが分かりました。

会食では、体育館に何チームかに分かれて輪になって座りそれぞれ地域の方を招きます。椅子がいい方には椅子を用意し、子どもと一緒に座る方には座布団を用意しました。大人も子どもも輪になって座り子ども達がおむすび2個と豚汁を配膳しました。みんな揃うと全員で合掌していただきました。みんなで「おいしいね。」と言いながら食べました。おむすびでみんな1つはおかわりしました。6年生の男の子はおむすび6個をペロッと食べてしまいました。



5年生が米作りについてプレゼンテーションをしました。米作りの大変さや米作りを通して命の尊さを学んだことや一生懸命作ったお米を食べる喜びを発表しました。5年生が「みんなで作ったお米はおいしいですか。」と呼びかけると体育館にいっぱい拍手が起き、あちこちで「おいしかったよ」声があがりました。

1、2年生の子ども達から地域の方へメダルがプレゼントされ会食が終わりました。終わりの言葉では、子どもを代表して「地域の皆様に感謝の気持ちを込めて、これからも元気にがんばりますので見守ってください。」と挨拶しました。



出口では5年生がアーチを作り、地域の方を見送りました。

地域の方は、とても嬉しそうに子ども達とハイタッチや握手をしておられました。

地域の方や子ども達の笑顔がとても印象に残りました。

今回の感謝祭の主旨を伺ったところ「農業体験や学校の活動、登下校など地域でお世話になった方への感謝の気持ち、食べ物をいただくことへの感謝の気持ちをみなさんに伝えること」と言われました。感謝祭に参加して金江小学校の先生方や子ども達から感謝の気持ちが伝わり地域の方がとても喜んでおられるのが分かり、皆さんの笑顔を見ていると温かい気持ちになりました。

水土里ネット福山は、田植え、稲刈り取材してきましたが、感謝祭では子ども達も地域の方々も、その喜びの表情は格別なものでした。これからも21世紀土地改良区創造運動を通して、子ども達と地域の絆を深める取り組みをしてまいります。